

国産ゲームマシンのフロンテア

Victory

株式会社 ビクトリー

〒652 神戸市兵庫区切戸町212-2
TEL (078) 651-0075~0076

ゲームマシン

THE GAME MACHINE

発行所
ゲームマシン社
大阪市北区本陣町45アドビル内
〒530 電話 06 (313)0451 内41
定価1部 200円
年間購読料(送料共) 7,200円
本紙ご購入ご希望の方は、上記
あて現金書留にてご送金下さい。

ゲーム機 輸入禁止の方向 の警視庁

破滅か発展か 岐路に立たされる ゲームマシン業界

メダルゲーム場の中にも換金、とばく行為を行なうところが出てきているが、警察庁はこれ以上ゲームマシンを使ったとばく場が全国に広がらないよう取締りを強化し、さらに輸入規制など思い切った方法で対処すべく検討を開始した。

無視できぬ違法ゲーム場

十一月七日開かれた近畿管内の合同公安委員会ならびにその後開かれた警察庁の会議において、全国のメダルゲーム場とばく犯が発生していることを重視、今後は輸入規制などの強い手段で、この種の犯罪の根絶を図る方向で検討していくことになった。

スロットマシン、ビンゴ、ロタミント、ダービー、ルーレット……これらふつう一般のゲームコーナーにあるゲームマシンは、一歩誤ると現金に交換できるという危険性をつねにはらんでいる。そのひとつはメダルではなく百円硬貨を使うような装置にすることであり、もうひとつはメダルでプレイしたうえでまたもやメダルを現金化するということである。これは、バクチであり、明らかに刑法上のとばく犯となる。もちろんメダルを景品に換えることも刑法や風俗営業法で禁止されているところである。

ゲーム場経営者や納入業者(リース業も含む)、それに客たちが、いったんこういうとばくに味をしめると、どうしようも

ないが、そのどうしようもない悪質なとばく犯が毎年増加、今年も検挙数、押収台数、押収金額が昨年の二倍を越えるピッチで上ってきている。ことに、ちゃんとした店舗を構えたゲームコーナーではない、喫茶店やスナックなどでのとばく犯はほとんど取締りを受けているが、反面アングラ化して、ゲームマシンの窃盗犯も多くなっている。しかし、ふつうのゲームコーナーでは、メダルを一切換金しないなど健全な娯楽として客に楽しんでもらえるよう、数項目の規準に従っている。そこでまさに「必ず損をするゲーム」が若者の感覚にフィットするものであり、楽しい遊びを売ってくれるものであるところから、ユニークな若者の風俗として注目され、また爆発的なブームとして各地においてメダルゲーム場が広がった。換金しないメダルゲームは、日本しかない方法であり、世界中から注目されているほどである。

でも今年二月に全国で百店余りだったのが、八月末には八百七店と約八倍という増加ぶりである。ところが、こうした混乱に乗じたというか、メダルの換金を行なうゲーム場も出てきた。さる八月二十二日に手入れを受けた兵庫県尼崎市の「カジノ出屋敷」、九月十八日摘発された東京都北区王子の「王子ゲームセンター」などは記憶に新しい。いちばん最近では十月三十日に摘発された大阪府枚方市のゲームコーナー「楠葉」。同店はさる五月一日に開店、スロットマシンなど二十九台のマシンを置いて、メダルの現金交換を行なっていた

甘い考えの業者は自滅へ

そこで警察庁としてはこうしたゲームマシンを全面的に取締る方向として、輸入規制などの策を立てつつある。第一に、ゲームマシンの台数から見ればほとんどが外国製である。大蔵省関税局の調べでは、四十八年度中に輸入されたゲームマシンは合計二万五千八百八台にのぼるとされ、まずこの輸入を制限する、という方法。つまり、メダルやコインを使うゲーム

が、この日、客と従業員九人が逮捕、スロットマシン七台、現金二十五万円が押収されている。メダルゲーム場でもこうした目に余る事態に陥っていることは、実は重大なことである。ことに枚方の「楠葉」に至っては、大阪府警保安課がさる八月、府下のゲーム場に再度の警告をしたあとだけに、ゲームコーナー全般に対する姿勢を一段と強くせざるをえなくなっている。しかも、事態は全国的レベルで進展している。

メダルゲーム場運営基準による強磁性体適合品

ステンレスメダル

★規格も±300ミリ以内と高精度、滑り、積重ね、カッティング性能も抜群

★指定マーク製作 ★1000枚より地方発送

株式会社 東葉興業 千葉県八千代市八千代台西4-7-10
TEL.0474-83-3401

マシンのについては、すべて「風俗を害すべき物品」として輸入禁制品(関税率法第二十一条)扱いにするというもので、従来スロットマシンなどは適用外だったのを拡大解釈して、日本への上陸をとめてしまおうという。第二には国産ゲームマシンも輸入品をしのぐ勢いで増加しているの、これを電気用品取締法によって規制しようというもの。これは国産マシン

アムコ社の自信作!! エキサイティング・レース

5年間の研究開発期間を経てオリジナル商品を完成



Super BONANZA



ダックス貿易株式会社

本社 東京都港区麻布飯倉片町6 ヤマザキビル1F
TEL 03 (585) 1661 (代)

東京営業所 東京都文京区本駒込3-22-2 霜越ビル1F
TEL 03 (827) 5241 (代)

大阪営業所 大阪市天王寺区清水谷町15-6 大祐ビル2F
TEL 06 (763) 3069

製造元株アムコ

第26回米MOAショー開催

昨年以上の最大規模

第二十六回MOAショーは昨年をはるかに越える大規模で、十一月一日から三日間、盛大に開催された。(小林)

世界三大アミューズメントショーのひとつと評判の高い「米MOA・EXPO74」が、去る十一月一日から三日間、シカゴのコンラッド・ヒルトンホテルで開催された。レド・モーズレー氏と次期会長のフランク・ジャコブ氏に、短時間ではあったが親しくお話を伺った。

会長、組織力に自信

「MOAの理事および会員の強力な協力により、今年度のMOA・EXPOは、MOA創立二十周年を祝った昨年を上回る規模であったことを誇りに思っています。来年のMOA・EXPOは、MOA創立二十周年を祝った昨年を上回る規模であったことを誇りに思っています。来年のMOA・EXPOは、MOA創立二十周年を祝った昨年を上回る規模であったことを誇りに思っています。」



モーズレーMOA会長

「今年度のトレードショーは、ビデオゲーム機の展示が多いようだが、前回はビデオゲーム機が注目されたが、今年はその第二期(SECOND GENERATION)で、多様なマシンが展示され、完全にエースと

した。また、ジュエリーボックスのオペレーター業界に影響の大きい「レコードの著作権金改正」についても、運動を組織し、業界にとって不利益な条件を破棄させることができた。今後とも不公平な法律に対しては協会の団結力によって闘いを継続して行く。

「MOAの会長職は本業の社長業が務まらないほど激務だと聞く。そのため一年の任期で持回わりだが、任期中はエネルギーを駆けて回り、一歩一歩と着々と会員を増し、業界の地位を向上させ、業者的な成果をあげているのには感心させられた」



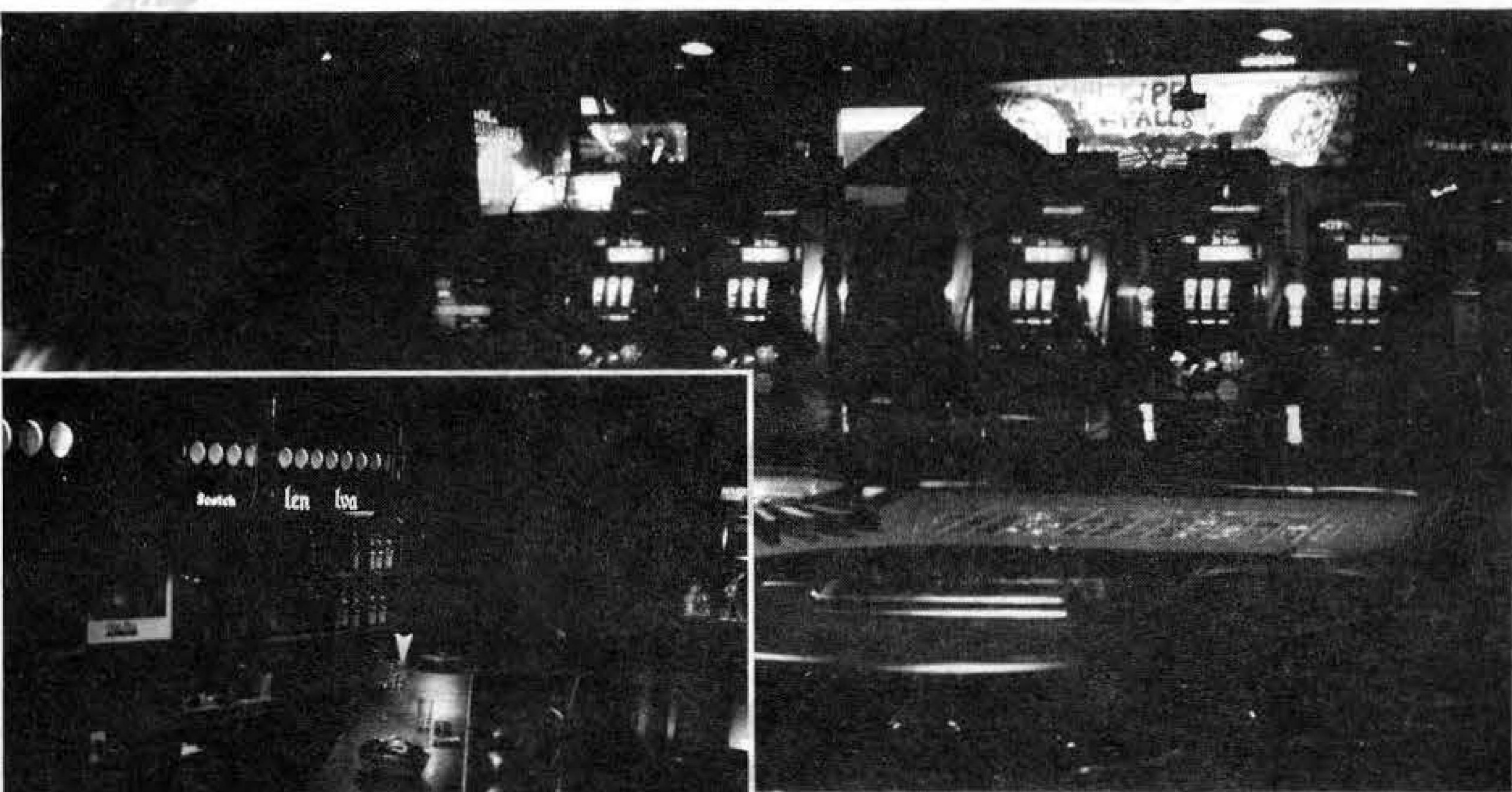
弊社より発行の「74/75 遊戯機械名鑑」の中の名簿において、次の箇所が誤って訂正しました。お詫びして訂正します。二七八頁下から五行目、二行目の電話番号「昭和娯楽物産」〇六(六九三)七三三七三、ダイヤ商事〇六(六三三)二二六八、日本出版企画制作(株)

訂正

三只今、特約代理店募集中

当社では中国、四国、九州地区の特約代理店を募集しています。当社ではタイム80、ブラックパンサーなどでおなじみの、(株)ユニバーサル製品の西日本総発売元です。当社では信頼関係に基づく委託方式を採用しています。詳しくは当社までご連絡ください。

株式会社 **カワクス** 東大阪市稲田1414 TEL. 06 (745) 2784



オーダーメイドで他をリードする!!

皆さまのご要望に100%お答えしたい。これが当社の姿勢です。遊戯機の販売、賃貸から施設の企画・設計・経営にいたるまで、それぞれの部門に優秀なスタッフをそろえ、明日のアミューズメント産業の発展に努力しております。どんな小さな事でもあとあとまで面影のいい、東京リース販売(株)に安心しておまかせ下さい。

東京リース販売株式会社

東京都板橋区中丸町9-1 三島ビル TEL. 03(956)1145(代)

ビデオに多様な機種

今年の主流を占めるビデオゲーム機は、昨年のピンポンなどの単純な遊びから、今年はいよいよビデオゲーム機といえ、アタリ社、バリー社製だ。アタリ社にはミルコゲーム機、バリー社はミルコゲーム機、ミーズゲーム社、P.M.C.社、プランズウィック社など有力企業が、多種多様なビデオゲーム機を開発・輸出した。今後、これら新製品が、日本のロケーションで活躍することが期待されるが、この分野は今後増々オペレーターにとってもメーカーにとっても、魅力ある分野になっていくことが予想される。



バリー社のコーナー

その他、アーケードマシンとして、われわれの関心を引いたものとしては、M.C.I.社の「エア・ボール」、A.C.A.セールスサービスク社の「ファイブアウト・ナウ」、プランズウィック社の「カラテ」があげられる。

フリッパーやガン・ドライブゲーム機も出展されていたが、すでに日本に輸入されている機種が大半で目新しい製品はな



ミッドウェイ社のコーナー

でまだまだ相当の開きがあるとは云え、ここ数年の日本の追上げは目覚ましいものがある。同行の者のなかには「今後日本の製品やロケーションプランを輸出することを考える時期に来ている」と言い切る人もあった。

★ MOA・EXPO74はこのトレードショーのほか大会での新役員の選出、セミナーの開催、ステーション、出展各社によるデイナーパーティなど多彩な行事が行なわれ、大成功裡のうちに十一月三日無事終了した。

お知らせ
本誌等購読の申込み
に便利な郵便振替の
用紙ができましたの
で、ご利用下さい。

成果を胸に無事帰国

米国MOA視察の一行

十月三十一日から十一月九日までの十日間、「米国MOA視察旅行」の一行は、米国各地を飛び回り、無事成果をあげて帰国した。

（株）ジャトレ（本社東京、ガスに到着。十一月二日竹内清一社長）などの主にはシカゴへ飛び、MOA催の「一九七四年度米国Aショー」を視察、四日はMOA視察旅行は、当バリー本社工場を視察し、初行程を縮小するなど、レセプション。五日はオ所期の各地を視察、大規模ワールドを視察、六日ロ一行は十月三十一日東京羽田を出発、翌日サンフランシスコからラスベ

なにしる初の試みであったが、以上のとおり所期の目的を達した。

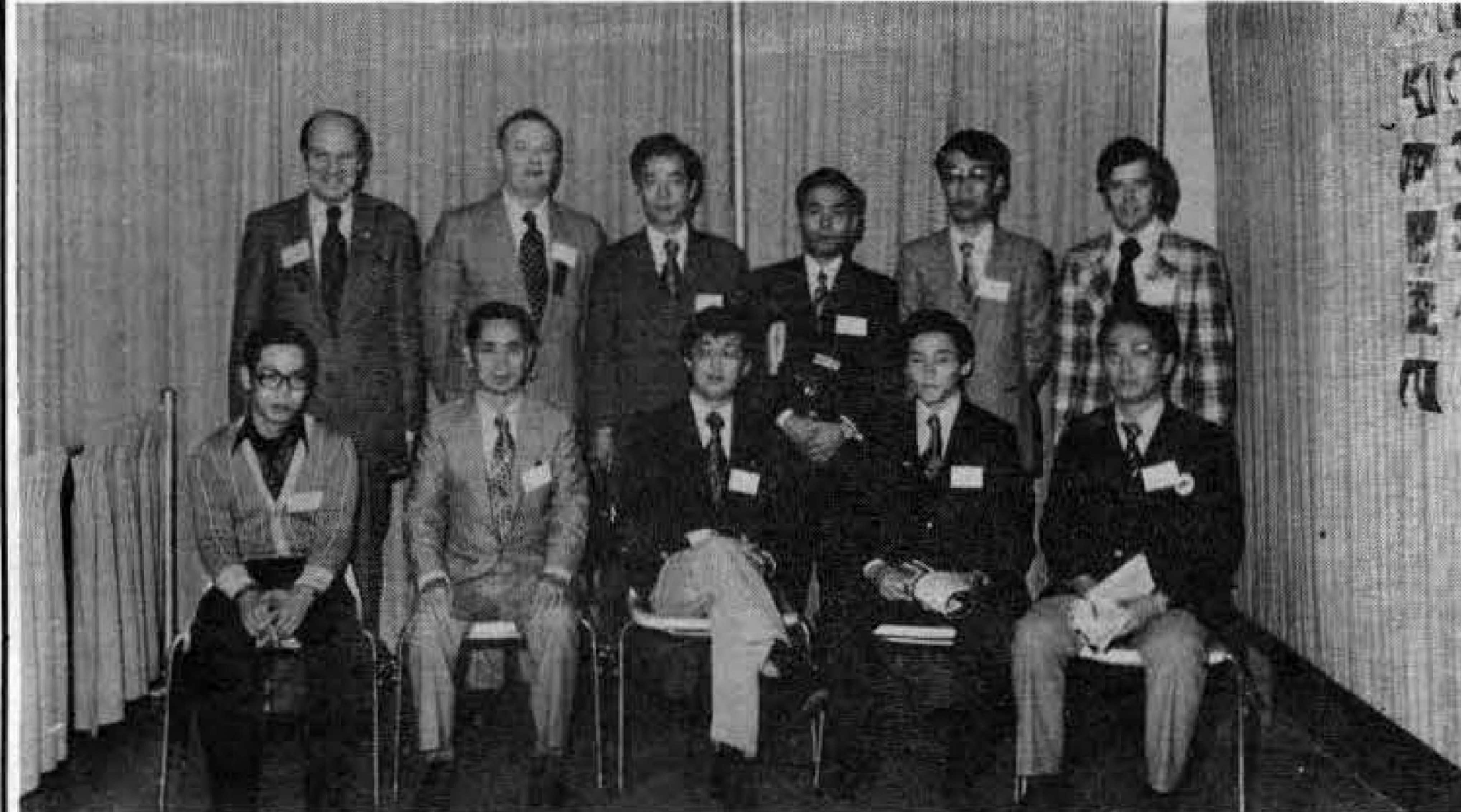
この旅行の最大の眼目である米国MOAショーは、今年で第二十六回目、十一月一日から三日間、シカゴ市のヒルトンホテルで開催された。本紙では、この旅行に同行した日本出版企画制作の小林

写真の提供を受けた。同氏によると、MOAショーから受けた印象では、現在ゲームマシン分野では日本は米国の水準に急速に近づきつつある。機種の豊富さについても日本のほうがはるかにすぐれているとのことである。従って、国産のゲームマシンも今後欧米へ輸出されるケースも出てくるし、また現在そういう事実もある、と語っている。

なお、同ショーの詳細

追上げ目覚ましい日本

イリノイ州では一切のギャンブルが禁止されているため、出展製品も日本というメダルゲーム機の出展はなく、また

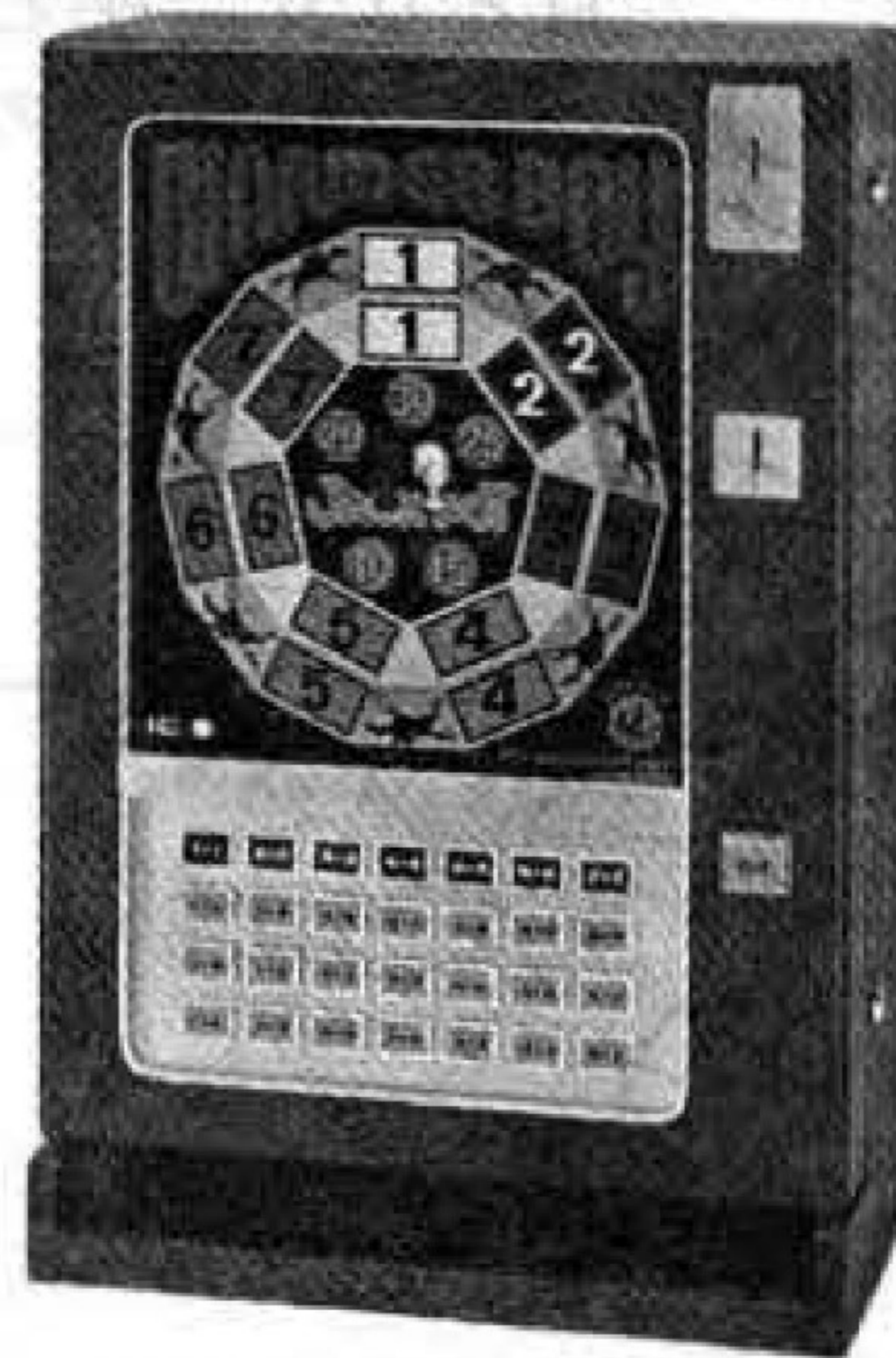


MOAショー会場における視察旅行団（後列左から2人目モーズレイ会長、同右端コーリン次期会長）

人気バツグンのU.N.C.L 300がニュータイプで新登場!!



U.N.C.L.300



WANDER BOY



Super-Continental

自動販売機および娯楽遊戯機



株式会社 べんどジャパン

〒557 大阪市浪速区水崎町18番地
電話 大阪 06(633)8296(643)3857・3880

＊新製品紹介＊

コインシステムの光線銃

日本ブランドウィック



ピンキングのセット

【東京】日本ブランドウィック(株)本社東京、中山久社長)は十月二十五日、野村電機(本社東京、野村良男社長)と共に同開発したコインシステムの光線銃ゲームセットを同日から発売する、と発表した。

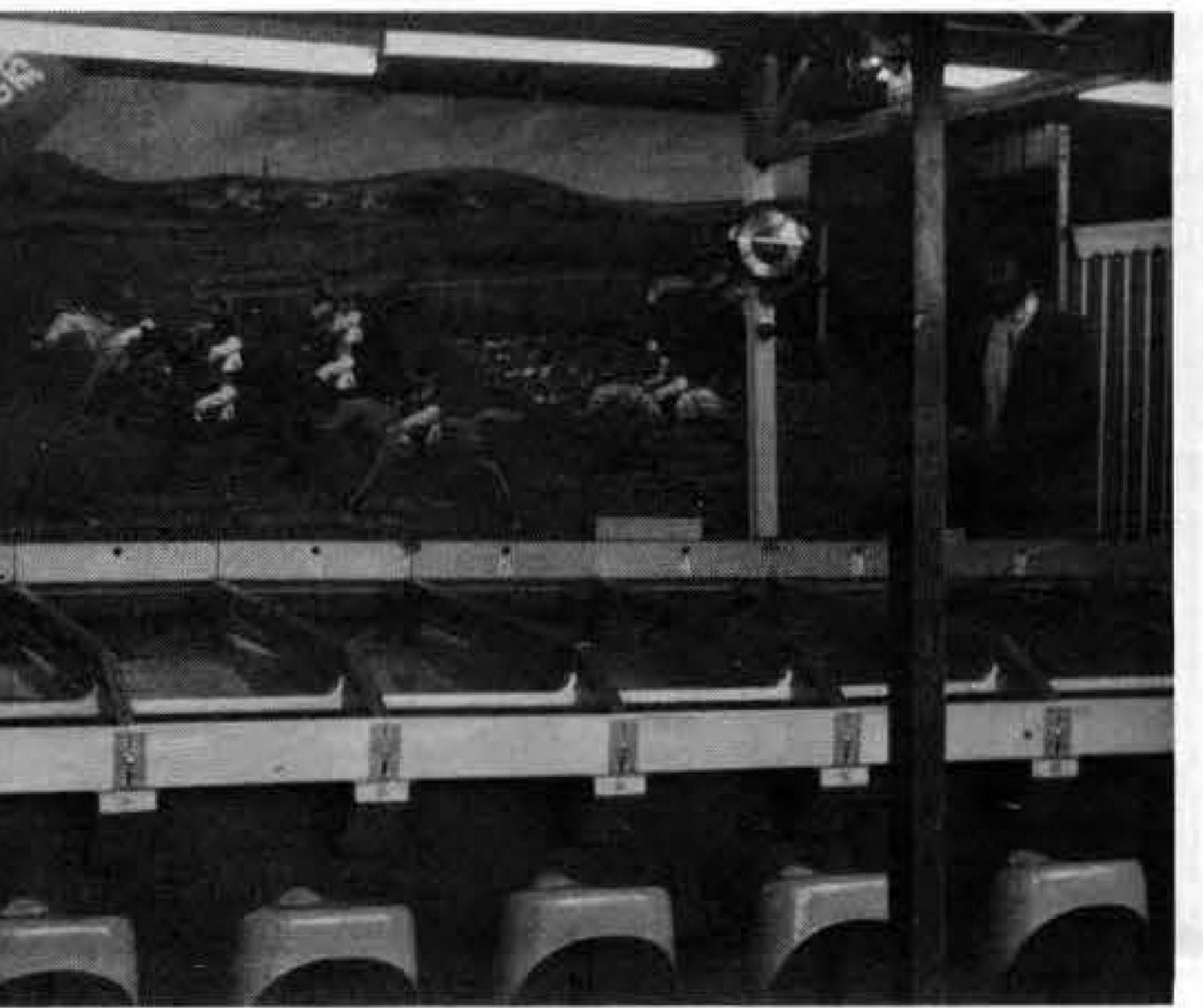
ブームを呼ぶ英国商品 ケンタッキーダービー

ジャトレ、12月より発売

【東京】日本ブランドウィック(株)本社東京、中山久社長)は、十二月より、まったく新しいゲームである「ケンタッキーダービー」を発売する。これは、昨年四月英国で製造、発売になったもののだが、発売と同時にイギリス人を興奮のウズに巻き込んだ、と言われ、現在英国では二十カ所までオベリートされている。

の遊びかたは、ざっと次のようになる。馬の数と同じ数の椅子があり、プレイヤーはそれに腰かけて、自分の椅子の番号と同じ馬を、さしてきて、スタートさせる。愛馬を走らせるには正面手前にある三色十六カ所の穴にボールを入れねばならない。

本場英国では解説者がついて、実況放送を行ない、プレイヤーたちも必死になって遊ぶ、と言われている。仕様は十八人用の場合、高さ二・四メートル、幅九・一メートル、奥行五・三メートルとちよつと大きめであり、大型ゲームマシンと言えよう。なお詳しい問い合わせ先は次のとおり。



(下の写真はケンタッキーダービー)

ピンキングのセットは、①コインシステム採用で金銭管理の省力化が図れる、②特別な電源装置、設置工事が不要で、移動も簡単、③一人でもグループでも各種のゲーム方法で楽しめる、などが特徴だとしている。ゲームセンター、レジャーセンターなどに設置すれば最適だとしており、年間販売六百台を目標にしている。

なお生産は野村電機が行ない、日本ブランドウィックが販売するが、価格はライフルとピストル各一丁、標的、射台など一セットで、ピンキングが二百九万円、クイックマシンが二百三十万円、マシンガンQZが百六十五万円とのこと。詳しい問い合わせ先は次のとおり。

東京都渋谷区千駄ヶ谷五丁目二七番七号 日本ポナンザ・エンタープライゼス

ポナンザ・エンタープライゼス(本社横浜、千葉和海信社長)は、先日開かれた第十三回自動販売機フェアに、新製品として「コイン交換機ファイブインワン」を出展、発売をスタートした。このファイブインワンは、マーマティック社のホッパーとアーダック社の千円札識別機とを組み入れたもので、千円札を百円硬貨十枚に変えるだけでなく、ホッパーを外に出せばコイン勘定機となる。ホッパーはコイン詰りがなく、最後の一枚まで処理し、識別機はシワ、ヨゴレには関係なく作動し、ニセ札は決して見逃さないという高性能を、同社では誇っている。

会場にはマーマティック社社長のモリス・サイクス夫妻も来て、さかんにイメージ作りにつとめていた。なお、ファイブインワンの本格的販売は来月一

高性能の千円札両替器

ポナンザ・エンタープライゼス

海外情報

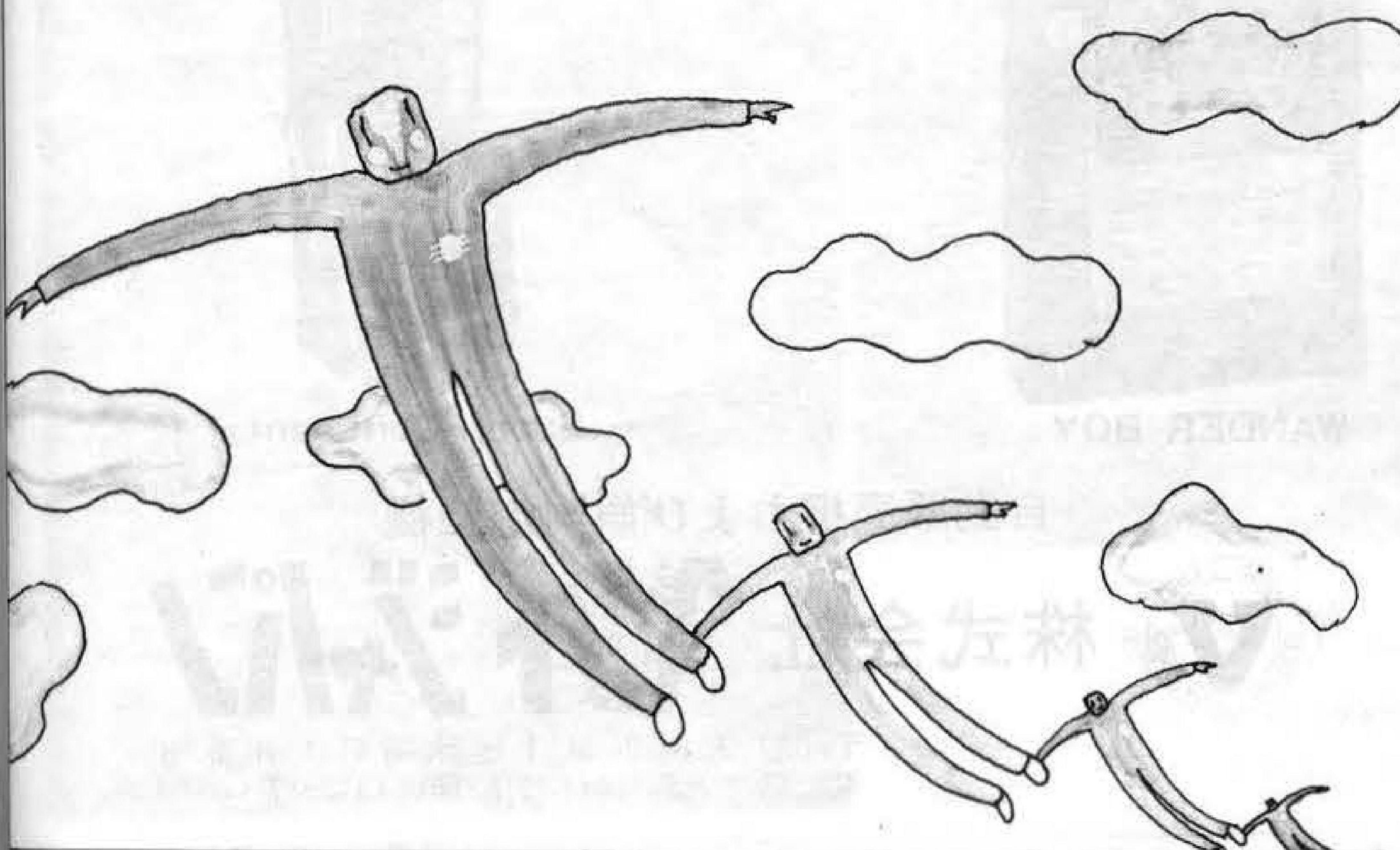
シーバーク社の販売権が移転



マーマティック社のホッパーを指さすサイクス氏(左)と千葉氏

IC感覚奔流す。

人類第三の感覚をとぎすます小さな巨人、目となり、手となり、ICの世界へ——。パブコは未来のIC回路を開きます。



ICマシンのパイオニア、パブコに大阪パブコが新しく仲間入り。従来のパシフィックベンディング株式会社より分離、独立し、大阪パシフィックベンディング株式会社として西日本地区の販売を担当いたす事になりました。東京・大阪両パブコを、今後とも一層の御支援をたまわりますようお願い申し上げます。

Logos and contact information for Pacific Bending Co., Ltd. (Tokyo) and Osaka Pacific Bending Co., Ltd. (Osaka).